

「平成26年 とやま水土里フォーラム」の開催

富山県と富山県土地改良事業団体連合会との主催による「平成26年とやま水土里フォーラム」が、平成26年10月10日（金）南砺市井波総合文化センターにおいて、土地改良関係者、県・市町村等 約600人が参加して開催されました。

主催者を代表して、寺林敏副知事、河合常則県土連会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の雑賀幸哉北陸農政局長、高平公嗣富山県議会議長、田中幹夫南砺市長の祝辞がありました。



次に知事表彰があり、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取り組み、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が授与されました。



受賞されたのは、次の2団体4個人の方々です。おめでとうございました。

- ・小矢部市土地改良区埴生大池地区委員会（小矢部市）
- ・福山自治委員会（砺波市）
- ・村田 定義 氏（黒部市）
- ・藤記 孝義 氏（富山市）
- ・水納 公男 氏（富山市）
- ・八幡 俊一 氏（射水市）

また、受賞者の内、小矢部市土地改良区埴生大池地区委員会と福山自治委員会からは事例発表が行われました。

つづいて、基調講演に入り、富山県出身で京都大学名誉教授の金田章裕氏が「砺波平野の開拓と農業用水」と題し講演されました。人文地理学・歴史地理学をご専門とされている金田先生からは、古代からの庄川の治水・利水の歴史の中から、今日の豊穣な砺波平野の発展に至る経緯についてお話をあり、午前の部を終了しました。



一方、ロビーでは南砺市や砺波市の特産品の展示・販売が、また屋外では農業用コンクリート製品の展示がそれぞれあり、大勢の来場者で賑わいました。



午後の現地研修では、国営総合農地防災事業庄川左岸地区の新川原川分水場、県営かんがい排水事業砺波中部2期地区の砺波神島調整池、同庄川地区の庄川地区共同用水路揚水機場および庄川沿岸用水土地改良区連合の高瀬発電所、また、JAとなみ野の稻種センターを大型バス8台に分乗し研修を行い、全日程を終了しました。

